

別記様式(第5条関係)

会議録

会議の名称	第9回登米市環境審議会
開催日時	平成27年3月13日(金) 午後1時30分開会、午後2時55分閉会
開催場所	登米市迫公民館 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	佐藤 幸一
出席者(委員)の氏名	【学識経験者】 高橋由紀子 【関係団体】 小野寺裕幸、須藤健治、佐藤律子、鈴木洋子、佐藤 幸一 【関係行政機関】 佐藤重人、松野 茂 【市民(公募)】 和田伸一、長埜孝喜 【市長が必要と認める者】 及川俊弘
欠席者(委員)の氏名	【関係団体】 嶋田哲郎、高橋平克、只野好子 【市民(公募)】 蓬田恵美子
事務局職員職氏名	市民生活部 部長 神田雅春、環境課 課長 木村達之、課長補佐兼係長 小泉一誠、主事 金澤直子
議題	議事 (1)とめ生きもの多様性プラン(案)について その他
会議結果	(1)とめ生きもの多様性プラン(案)について 内容を一部修正することで承認された。
会議経過	別添のとおり
会議資料	資料1 とめ生きもの多様性プラン(案) 資料2 とめ生きもの多様性プラン(案) 行動計画[別冊] 資料3 とめ生きもの多様性プラン(案)概要 資料4 とめ生きもの多様性プラン策定の経過 資料5 とめ生きもの多様性プラン(案)に対する意見

発言者	議題・発言・結果
事務局 会長 市民生活部長	開会  あいさつ  あいさつ
事務局  議長(会長)  事務局  議長(会長)  事務局  議長(会長)  委員  議長(会長)  委員	<p>それでは議事に入る前に、登米市環境基本条例第34条第2項の規定に基づき、市長より環境審議会に諮問させていただく。</p> <p>(市民生活部長が諮問書を読み上げ、会長に手渡す)</p> <p>それでは議事に入る。審議事項としまして、「とめ生きもの多様性プラン(案)について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>はじめに、資料4「とめ生きもの多様性プランの策定の経過」について、概略をご説明する。 (策定経過を説明)</p> <p>次に、資料3「とめ生きもの多様性プラン(案)」についてご説明する。 (概要版にて、案の概要を説明)</p> <p>ただ今の事務局の説明に対し、ご意見やご質問をいただく前に、委員の皆様から事前にいただいたご意見について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>資料5「とめ生きもの多様性プランに対する環境審議会の意見」について、ご説明する。 (とめ生きもの多様性プランに対する環境審議会の意見を説明)</p> <p>ただいまの説明に関して、ご質問、ご意見をお願いします。</p> <p>地域の環境を良くするために、みんなで作業を行うが、高齢者がほとんどである。このような計画を作るのは良いことだが、若い人たちも参加し、多くの人が必要である。</p> <p>あと、最近、地域の杉の木が、防風で倒れていることが多い。バイオマス燃料として有効に利活用ができないものかと思っており、地域を巻き込んでの仕組み作りができないものかと考えている。</p> <p>市の環境市民会議内に、木質バイオマス利活用プロジェクトチームを組織して、木質バイオマスの利活用について検討してきた。内容がまとまったので、本日、市長へ木質バイオマスの利活用についての提言書を提出したところである。</p> <p>登米市は4割が森林で占めているので、森林資源を燃料として有効に利活用することと、二酸化炭素削減の推進も考えていただきたい旨である。</p> <p>その他にいかがか。</p> <p>登米市の林業には、後継者がいないようだが、高知県ですごい経営をしており、若い人たちがどんどん入ってきている。そのやり方は、個人で山を持っているが、高齢化で管理ができないので、組合組織にして、伐採や間伐などを行っている。ま</p>

議長(会長)	<p>た、使っている機械がすごい。勝手に枝を切って、伐採した木を同じ長さに切って、そのまま車に積み込む。すべてが機械作業で手を汚さず、服も汚さず、ネクタイ姿で出来るようである。</p> <p>登米市においても、同じように進めていく方向であれば、こういうのに対しての補助金は考えられないのか。若い人たちが働く場を提供するのも一つの手かなと思っている。</p>
事務局	事務局いかがか。
委員	<p>私もテレビで拝見した。現在、市内の森林関係では、杉の人工林は、手入れがなされていない状況で荒れていると聞いている。森林組合でそのような機械を導入する際には、市でも補助を行っているし、ぜひ、若い人たちが林業に就いていただければと思っている。</p> <p>県の立場から意見させていただく。登米市は林業振興にも力を入れている。ここ数年連続して森林組合では林業機械を導入しており、国県の補助金のほかに、登米市でも補助金の上乗せを行っている。登米市は、機械を使った効率化は進んでおり、他の市町村よりはかなり高いレベルでの支援を行っている。津山には、大きな製材所もあり、県製材製品出荷額の4割を占める、県内でも最大の製材所の集積地である。製材所の機械更新や、高性能の機械導入にあたって支援を行っている。</p> <p>また、森林バイオマスについては、国、県、登米市でも林地残材の有効活用する考えで進めている。課題となってくるのが、今採算が合わなくて有効活用されていないものをどのように安定的に持ってくるかである。そして再生して作ったエネルギーをどこで使うかが一番の課題である。バイオマスを集めてくるとか、端材を使うとの基本的なベースは他の市町村よりはできており、課題の検討もされていると聞いている。</p>
議長(会長)	その他にいかがか。
委員	<p>プラン全体への意見として、登米市が生物多様性を重視して将来に向かって保全して、尚且つワイズユースしていく考え方、基本理念がまとめられており、かなり高いレベルになっていると思っている。今、県でも同じように県生物多様性地域戦略を作っているが、このプランは素晴らしいものになっており、敬意を表する。</p> <p>生物多様性はなかなか一般の方に理解されないもので、私たちの生活には欠かせないもだと、これが無いと豊かな生活が出来ないことを繰り返しアピールしながら、いろんな活動につなげていただきたいと思います。</p>
議長(会長)	<p>その他にいかがか。</p> <p>それでは他にご意見は無いようなので、「とめ生きもの多様性プラン(案)」についての質疑は終わらせて頂く。</p> <p>審議事項の「とめ生きもの多様性プラン(案)」につきましては、一部修正し、適当と認めてよろしいか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
議長(会長)	<p>修正箇所については、43ページ 18行目「各ほ場で概ね 20～30 種類の生きものが確認されています。」を「48 種類(平成 26 年 6 月調査)の生きものが確認されています。」に修正。</p> <p>43ページ 22行目「消費者への産地信頼性の確保」を「消費者への産地に対</p>

	<p>する信頼性の確保」に修正。</p> <p>44ページ 2行目「トンボの乱舞やカエルの大合唱」を「トンボの乱舞する風景やカエルの大合唱」に修正。</p> <p>56ページ 2行目「(ラムサール条約に関連した動き)」を「(ラムサール条約等に関連した動き)」に修正。</p> <p>56ページ 4行目「登録された伊豆沼・内沼、蕪栗沼・周辺水田があります。」の次に、「また、伊豆沼・内沼は、平成26年12月11日に、東アジア及びオーストラリア地域における渡り鳥とその生息地の保全を目的とした「東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ」への参加が新たに認められました。」を追加。</p> <p>57ページ 2行目及び7行目「伊豆沼」を「伊豆沼・内沼」に修正。</p> <p>57ページ 2行目「平成8年に定置網にかかったオオクチバスが確認されたことから」を「平成8年に多数のオオクチバスが漁業者の定置網にかかったことから」に修正。</p> <p>以上の内容でよろしいか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
議長(会長)	<p>ご異議がないようなので、一部を修正し、適当と認め答申することに決定する。それでは答申書の準備を行うので、一旦、休憩を取りたいと思う。事務局に確認するが、10分位で大丈夫か。それでは、10分後にご着席いただきたい。</p> <p>(休憩)</p>
議長(会長)	<p>それでは、会議を再開する。</p> <p>お手元に、答申案が配布されているが、この文案でいかがか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
議長(会長)	<p>この文案のとおり答申書を市長に提出する。</p> <p>(会長が答申書を読み上げ、市民生活部長に手渡す)</p> <p>それでは、次にその他について、事務局から願する。</p>
事務局	<p>その他として、環境基本計画の見直しに関する諮問については、4月末をめどに考えている。</p>
議長(会長)	<p>以上で、本日の環境審議会を終了させていただく。</p>
副会長	<p>閉会のあいさつ</p>
	(閉会)

上記のとおり相違ないことを証明する。

平成 年 月 日

議長(会長) \_\_\_\_\_

議事録署名人 \_\_\_\_\_

議事録署名人 \_\_\_\_\_